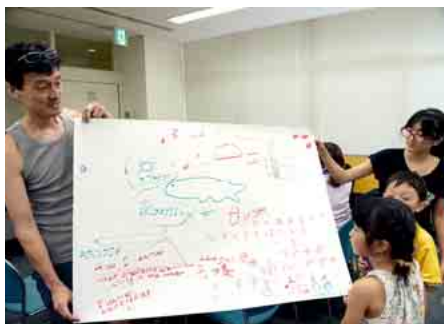


川の生き物調査 in 北房
川は海までつながっている



備中川にはどんな生き物がいるのかな



生き物調査のまとめを班ごとに



アブラハヤやカワムツなどたくさん

市政トピックス TOPICS

7月24日、北房地域の備中川で川の生き物調査 in 北房が開催されました。この取り組みは平成29年から真庭市と岡山市が連携して行っている河川環境の保全の一環で、真庭市の小学生14人と岡山市の小学生15人が参加しました。北房地域での開催は今回が初めてで、参加した小学生たちは旭川源流のひとつである鍾乳洞「諏訪洞」を見学したり、川の生き物を採って観察をしたりしたほか、ホタルやアユモドキの保全活動について話を聞きました。

真庭市や岡山県、農事組合法人寄江原など10団体で構成するSDGS未来杜市・真庭スマート農業オープンラボが今年度から取り組んでいるスマート農業の実証を見学することができる現地研修会が、7月30日に行われました。県内から多くの農業関係者が集まり、スマートフォンで水田の給水や排水を制御できるほ場水管理システムや、稲の色を空中から観察するセンシング用ドローンなど最新農機の説明を受けました。

スマート農業技術の開発・実証プロジェクト現地研修会 中山間地域の新たな試み



自宅からスマートフォンで水田の水管理ができます



意見を交わす教育委員

真庭市総合教育会議 真庭市の目指す教育とは

7月26日、市役所で総合教育会議が開かれ、市長、教育長、4人の教育委員、政策アドバイザーの山本健慈さんが出席したほか、学校の関係者など約30人が傍聴に訪れました。この日の議題は「真庭市らしい就学前からの一貫教育について」と「真庭市の特性を踏まえた高等教育機関等設置可能性調査について」の2つで、家庭と行政が一体となって就学前から高校までを一貫して見守ることが重要であるなどの意見が出ました。



市長室から
こんにちは!

マイクロ水力発電所とSDGs

8月14日、古い伝統を持つ国指定無形民俗文化財「大宮踊」で華やぐ日に、蒜山吉森美田野地区で小さな発電所が動き始めました。

小さな発電所にもかかわらずお祝いは盛大で、来賓、地域の方々、そして小さな子どもたち、多くの人に祝っていただきました。

真庭市としては、SDGs未来都市にふさわしく、大きなバイオマス発電所だけではなく、水力、太陽光などあらゆる自然再生エネルギーを活用した、地域エネルギー100%に挑戦しています。大変大きな目標ですから、どんな小さなエネルギーも活用しようとしており、かつて日本海側との往来で賑わった街道沿いにある用水路にも発電機を設置したのです。

この発電機は、水流でプロペラが動く仕組みで、最大出力1.5kWです。270日程度稼働し、約3,200kWhの電力を生み出し、年間の売上収入はFIT制度(固定価格買取制度)を活用することにより10万円ほどになります。

広い真庭でこのような発電機を設置する水路はたくさんあるように思われますが、一定の水量とその安定性、2m以上の落差、水利権の調整、さらに、ごみ掃除などの常時の水路管理など、いろんな制約条件があります。この吉森美田野地区の盆踊り青年会に水路と発電機を管理してもらうことができ、また地域のご理解もあり、めでたく設置第1号になった訳であります。改めてお礼を申し上げます。

発電量は、ほんとに小規模ですが、身近な水から電力を生み出すとともに、管理料は大宮踊の保存にも役立つことにもなります。塩釜の冷泉から流れる清らかな水が電力を生み出すことを子どもたちが見ることで、生きた環境教育にもなります。発電機は50年くらい動きます。やがて、子どもたちが成長し、美しい水を守り、大宮踊と発電機の管理を受け継ぐことでしょう。まさに、この地域のSDGsそのものであります。

市民の皆さん、このような水力発電機を設置できる場所はほかにありませんか。真庭市は探しています。そしてまた、SDGsは身近な取り組みからできます。みんなの力で、真庭市を未来に向かって、発展させましょう!



国際協力について語るパネリスト

7月31日、中央図書館で真庭市制15周年トークイベント、ゼロからの国際協力が開催されました。国際協力への理解を深めようと、(株)イシン住宅研究所代表取締役社長・石原宏明さんと青年海外協力隊OV・石田一成さんを迎えた講演、太田市長を交えたトークセッションが行われました。国際協力の最前線で活躍する2人の話を聞こうと、当日は約80人の参加者が集まり、登壇者の話に熱心に耳を傾けていました。

ゼロからの国際協力 国際協力の最前線を知る



まにわくんで北房に到着

8月9日、ゲーム感覚で地球温暖化について学ぶ夏休み子ども探偵団が開催されました。この取り組みは「スマートムーブ」という、温室効果ガスを減らすための公共機関利用促進活動の一環です。参加した小学生たちは市役所本庁舎からコミユニティバスまにわくんに乗り、北房地域の皆部バス停で下車。皆部地域などをめぐりながら、地球温暖化にまつわる謎解きスタンプラリーに挑戦しました。

クールチョイス推進事業 夏休み子ども探偵団 地球温暖化を謎解きで学ぶ